

D X

D デジタルを
D デザインする
X 変革の時代

F . M . D . S

2025/07/01

TM.
DX
M.D.S

^ 経営ビジョン v

・社会の未来を切り拓くため、新たなデジタル技術を取り入れ、新たな付加価値を生み出すことに挑戦。



^ ビジネスモデルの方向性 v

- ・経営ビジョンを実現するために後述の技術を活用。

デジタル・トランスフォーメーション(DX)の内容

1. 業務の効率化による生産性の向上
2. 既存製品・サービスの高付加価値化
3. 新製品・サービスの創出
4. 現在のビジネスモデルの根本的な変革
5. 企業文化や組織マインドの根本的な変革

DXの代表的な技術 7

・「IoT」「ビッグデータ」「AI」「ICT」「RPA」「クラウド」「XR」

技術1：IoT

IoTは「INTERNET OF THINGS」の略称であり、直訳すると「モノのインターネット」

技術2：ビッグデータ

従来の管理システムでは記録、保管、解析が難しかった巨大なデータ群

技術3：AI

AIは「ARTIFICIAL INTELLIGENCE」の略であり、「人工知能」

技術4：ICT

ICTは「INFORMATION AND COMMUNICATION TECHNOLOGY」の略称で、その名の通り「IT」「II」ケーシヨンを主体とした情報通信技術

技術5：RPA

RPAは「ROBOTIC PROCESS AUTOMATION」の略称です。ホワイトカラー業務をロボットが代行する取り組み

技術6：クラウド

クラウドは「クラウド・コンピューティング」の略称であり、インターネットなどのネットワークを通じてサーバーやストレージ、ソフトウェアなどを利用する技術

技術7：XR

XRは、現実世界にはないものを表現したり、体験したりできる技術の総称デジタル化の影響

^ 情報処理技術の活用の方角性 v

3つの重点分野で、デジタル変革の実現を推進

1. DX価値創造

- ・デジタルリテラシーを高め組織を強化し、新たな価値創造や変革推進を行う。

2 データに基づいた意思決定

- ・デジタルマーケティングによる見込み客の発掘及び課題認識。

【具体的なデジタル技術を用いたデータ活用方法例】

- ・WEBサイトやSNS、メールマーケティングを活用し、見込み客を獲得し、取得したリードに対し、マーケティングオートメーションで育成を図り顧客との継続的な関係構築を行う。

3 業務改革

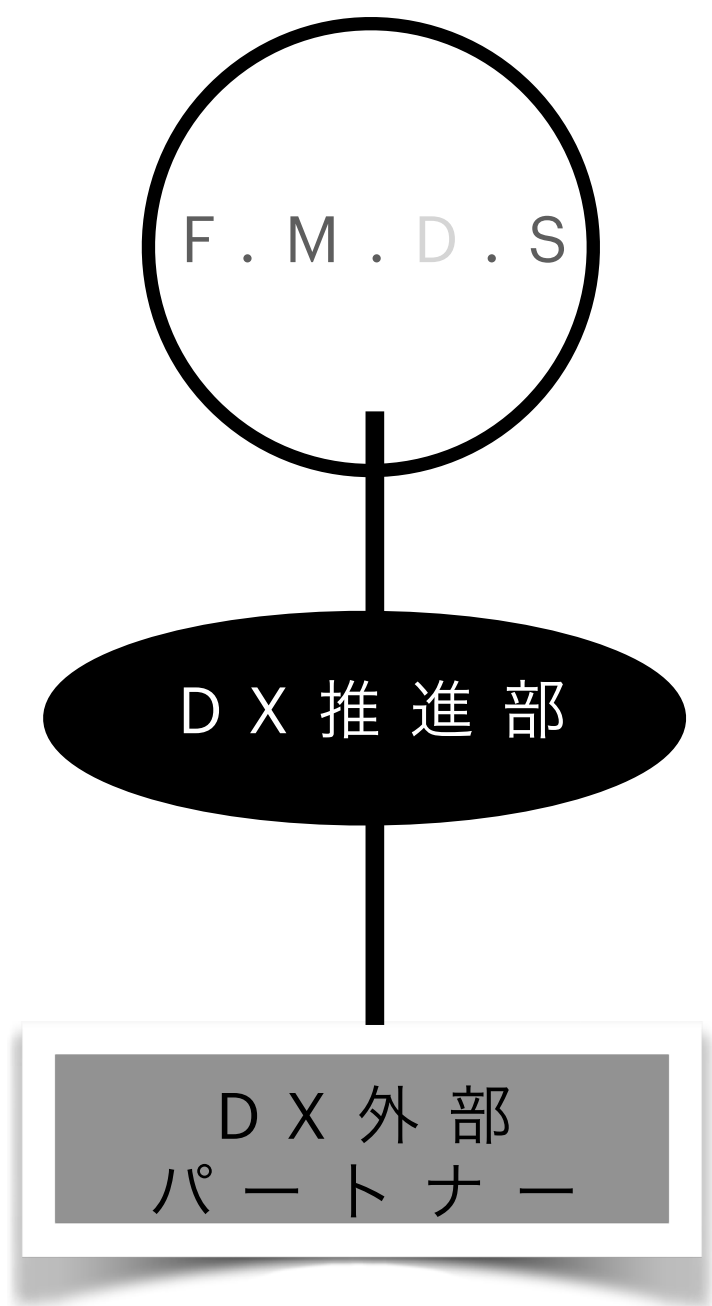
- ・業務効率化のためのクラウドサービス導入。
- ・管理会計データ、財務データなどをシステムで見える化。

^ DX戦略を推進するための体制 v

1 DX戦略推進強化のための体制としてデータの一元管理し、DX戦略における各施策の進捗管理等を専任するDX推進部を設置予定。

2 DX戦略に関する企画・やプロジェクト全体の進捗管理等をDX外部パートナーを通じて推進を検討。

3 デジタル人材育成として、基礎スキルと知識を習得できる多層的な育成プログラムを検討。



^ **DXを推進するための環境整備** v

- ・DXソリューションの導入…ECサイト、マーケティングオートメーション他
- ・オフィスのクラウド化…業務のオンライン化、ネットワーク環境整備、情報セキュリティ対策他

コ **システム・デジタル技術活用環境の整備に関する方策**

- ・デジタルマーケティング取り組み
- ・データ見える化および活用

^ 戦略の達成状況に係る指標 v

1. 企業価値創造に係る指標..

- * 売上高増加率 対前年度10%U
- * 現在のビジネスモデルの根本的な変革 **DX活用**
- * 企業文化や組織マインドの根本的な変革 **Xの活躍**

2. 戦略実施により生じた効果を評価する指標

- * コスト削減効果 対前年度**10%UP**
- * 既存製品・サービスの高付加価値化 商品価格対前年度**10%UP**
- * 新製品・サービスの創出 新素材の活用

3. 戦略に定められた計画の進捗を評価する指標..

- * **KPI**（重要業績評価指標）の達成状況
「月間リード獲得数50件」

F . M . D . S